

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	道路改築事業		路河川名等	(国)292号		
事業毎の通番	3	市町村名	飯山市	箇所名(ふりがな)	濁池(にごりいけ)	
事業目的	(国)292号は群馬県吾妻郡長野原町を起点として、新潟県上越市に至る幹線道路である。また、北信地域と新潟県を結ぶ、物流、交流を支える重要な道路である。 このうち当該区間は、線形が悪く、特別豪雪地帯であるため、冬期は車両のすれ違いが困難な状況にあり、車両同士の接触事故、路外への逸脱、河川への転落事故が発生し、大変危険な状況にある。 このため、当該区間の整備により、安全で安心な道路空間の確保を図るため、早期に整備する必要がある。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	広域道路網マスタープラン、飯山市過疎地域自立促進計画					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量:1,248台/日					
着手年度	平成28年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.7	国庫	その他	県債 一般財源
全体事業内容(主な工種)	・道路築造工 L=150m、W=6.5(9.75)m			200,000	110,000	81,000 9,000
年度事業内容(主な工種)	・用地測量 一式、物件調査 一式、用地補償 一式			15,500	8,525	6,277 698
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間・経費の減少 3億円 緊急輸送路(2次)の整備				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	○代替道路の有無 : 代替道路がない ○交通結节点アクセス : バス路線(市バス(富倉・大川線))、北陸新幹線飯山駅へのアクセス道路 ○医療・福祉・教育施設との連携 : 飯山赤十字病院への1次アクセス ○地域の活性化 : 飯山市過疎地域自立促進計画				評価 A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 広域道路網マスタープラン(地域形成型)、飯山市過疎地域自立促進計画 ○緊急輸送路の路線指定 : 第2次緊急輸送路 ○地域指定 : 信越観光圏、特別豪雪地帯				評価 A
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.7 ○事業期間 : 4年間 ○代替案の検討 : ルート比較実施 ○他事業との連携 : なし				評価 A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : H24:1件(人身)、H25:2件(人身) ○危険箇所対策 : 雪崩危険箇所 ○歩道整備 : なし ○現況の半径 : R=25~35mのクランク				評価 B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(H27.5.14に事業説明会を開催) ○地域の取り組み : 積極的な取り組みがある((国)292号改良促進期成同盟会) ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている ○住民との協働 : 毎年、富倉4地区による沿道美化活動が行われている。				評価 A
	部意見	事業の必要性、重要性及び効率性が高いため、平成28年度から新規事業化したい。	行政改革課意見	広域的な幹線道路であるものの、現道は幅員狭小、線形不良であり、円滑な交通に支障をきたしていることから、必要性、重要性が認められる。		評価結果 ○

**位置図**

**平面図**

**事業概要説明図表**

**現況写真**

**標準横断面図**

**事業周辺環境**

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)292号は群馬県吾妻郡長野原町を起点として、新潟県上越市に至る幹線道路である。また、北信地域と新潟県を結ぶ、物流、交流を支える重要な道路である。 このうち当該区間は、線形が悪く、特別豪雪地帯であるため、冬期は車両のすれ違いが困難な状況にあり、車両同士の接触事故、路外への逸脱、河川への転落事故が発生し、大変危険な状況にある。このため当該区間の整備により、安全で安心な道路空間の確保を図るため、早期に整備する必要がある。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	毎年、国道292号改良促進期成同盟会(会長:足立飯山市長、代議員:当該地区区長)から、線形不良区間を解消し、堆雪帯を確保した豪雪地帯の安全で安心な道路空間の確保について要望が出されている。
③事業説明等の経緯	平成27年5月14日に、沿線自治体役員への事業説明を行い、改良方針についての了解を得ている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	広域道路網マスタープラン 飯山市過疎地域自立促進計画
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	周辺の自然環境に配慮し、地形の改変を極力少なくするよう工法の検討を行っている。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により、交通事故の抑制、交通の円滑化が図られる。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 54' 10.25"
	東経:E 138° 18' 58.07"